

平成25年7月25日

地域経済産業調査（平成25年4-6月期）結果

〈全体の動向〉

今期（4-6月期）の近畿経済は、持ち直している。

すなわち、生産は、太陽電池、自動車・自動車部品等が好調に推移、スマホ・タブレット関連電子部品の輸出も回復傾向にあることなどから、持ち直している。

設備投資は、製造業で前年より投資額を増やす企業が多く、非製造業では新規出店への投資意欲が旺盛なことから、持ち直しの動きがみられる。











雇用は、完全失業率や有効求人倍率が改善傾向を示しており、依然厳しいものの持ち直しの動きがみられる。

個人消費は、円安・株高により消費者マインドの改善から高額品・国内旅行・レジャー関連が引き続き好調に推移。食料品・日用品などでは節約志向が根強く見られ、家電販売も厳しい状況が続いているものの、全体的に緩やかに持ち直している。

〈個別の動向〉

- （1）生産：持ち直している。
- （2）設備投資：持ち直しの動きがみられる。
- （3）雇用情勢：依然厳しいものの、持ち直しの動きがみられる。
- （4）個人消費：緩やかに持ち直している。

〈これまでの基調判断の推移〉

| | 平成24年4-6月 | 平成24年7-9月 | 平成24年10-12月 | 平成25年1-3月 | 平成25年4-6月 |
|----|---|---|---|--|---|
| 全国 |  |  |  |  |  |
| | 持ち直しの動きがみられる | 持ち直しの動きが弱まり、足踏み状態の地域もみられる | 弱含みで推移している | 持ち直しの動きがみられる | 緩やかに持ち直している |
| 近畿 |  |  |  |  |  |
| | 緩やかながら持ち直しの動きが続いている | 足踏み状態となっている | 弱含んでいる | 持ち直しの動きがみられる | 持ち直している。 |

（参考）今回、本調査の対象機関（87）、実施期間（平成25年6月6日~6月28日）

本件のお問い合わせ先）

近畿経済産業局総務企画部調査課長 尾仲

担当：勝谷、小谷 電話：06-6966-6004

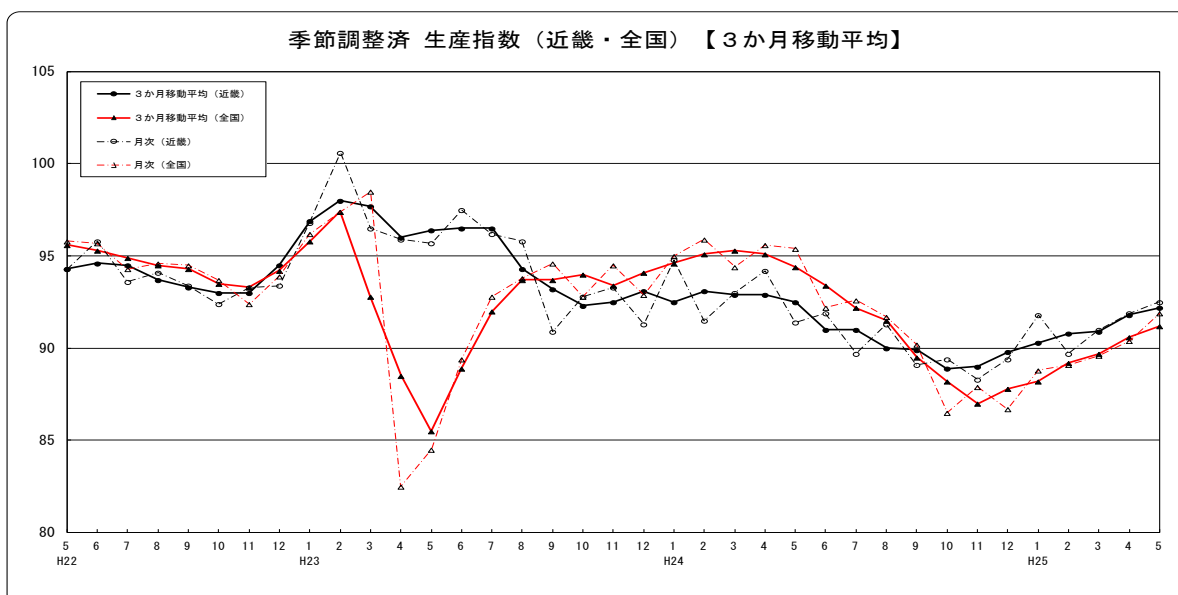
生産 ～持ち直している。～

太陽電池、自動車及び自動車部品、建設資材関連の工場稼働率は高水準。半導体等の電子部品は、新製品開発（スマートフォン、タブレット等）に向けた海外メーカーからの受注増加で回復傾向。民間設備投資関連やアジア向け建設機械などは依然低調。円安効果により国内への生産回帰の兆しが見られる一方で、原材料価格の高騰が中小製造業の生産活動に影響を与えつつある。

7～9月に向けては、生産が少し上向くのではないかとの回答が多い。

【企業の生の声】

- 太陽電池はフル生産状況。買取価格下落にもかかわらず好調。【情報通信機器】
- 軽自動車の販売が好調で工場はフル生産の操業レベル。【輸送用機器】
- 鋼材は、自動車関連が回復してきており増産見込み。【鉄鋼】
- 建材の需要は伸びている。【生産用機械器具】
- スマホ関係が戻ってきている。これまで不調だった半導体部品、電子デバイスも第2・3四半期は上がっていく見込み。【電子部品・デバイス】
- △工作機械の生産は緩やかに減少傾向。【生産用機械器具】
- △全般的に設備投資はまだ本格的な回復に至らず、昨年4月に前年割れに転じた民間引き合い量（化学、電機、鉄鋼等）は低迷が続いている。【業務用機械器具】
- ×建設機械部品の生産は低調。今まで横ばいであったが、5月から10～15%減で落ち方が大きい。【輸送用機器】
- ・製造業の国内回帰の動きが出ている。金型についても、3Dプリンター、CCDカメラ、画像処理などの精密部品にはメイド・イン・ジャパンのものを求められている。【プラスチック製品】
- ・円安でゴム、樹脂といった原材料の価格が上がっている。国内受注が概ね3割減で稼働率は下がってきている。【化学】
- ・原料費等については、原糸が対前年度4割、綿花が対前年度2割、電気代が2割上がっている。【繊維工業】



（注）近畿：平成17年基準（平成17年=100）、全国：平成22年基準（平成22年=100）

設備投資 ～持ち直しの動きがみられる～

今年度の設備投資計画は、製造業では円安などの効果により景況感が良くなっているため、前期より設備投資を増やす企業が多い。国内投資では太陽光設備への投資のほか引き続き効率化・省力化を図るための投資、海外投資では中国以外にアジアへの生産能力増強のための投資という棲み分けが進んでいる。

また、非製造業では小売業や飲食店などで出店意欲が旺盛である。

【企業の生の声】

- 今期は工場に設置する太陽光発電設備、既存設備の更新に係る投資。今後は、海外における新規の設備投資が増加する見込み。国内は引き続き更新投資が中心となる。【業務用機械器具】
- 国内は効率化・省力化。海外は既存の工場（中国、メキシコ）を増産。【ゴム製品】
- 国内向け投資は設備の維持更新が中心であり、海外向けは生産能力向上の投資という棲み分けをしている。需要のある所で生産拠点を置く方針。【情報通信機器】
- 節電のため、6月にソーラーパネルを設置し、順次、LED照明の導入を進めている。今年度の計画は、維持、補修、省エネを中心に進めていく予定。【鉄鋼】
- 今年度は新規店舗分や売り場の陳腐化を避けるための一部店舗の改装に増額投資。【各種小売業】
- 今期の計画では16店舗程度の新規出店。【機械器具小売業】
- 今期は積極的に出店を行う方針である。【飲食店】
- △中長期的には中国での人件費高騰によるコストアップをヘッジするために、カンボジアに生産拠点を設置。【繊維工業】
- ×設備投資の基本的な考え方として、需要のある所に設備投資をする方針。現在、経常損失が出ているので、設備投資は抑制していく方向。【電気機器】

全国企業短期経済観測調査

| 前年度 (前年同期)比 | (前年度(前年同期)比: %) | | | | | |
|---|-----------------|--------|--------|----------------|--------|--------|
| | 近 畿 | | | 全 国 | | |
| | 2013年度 (計画) | 上期(計画) | 下期(計画) | 2013年度 (計画) | 上期(計画) | 下期(計画) |
| 全産業 | 5.1 | 7.4 | 3.2 | 2.0 | 9.6 | ▲ 4.2 |
| 製造業 | 4.9 | 7.1 | 2.8 | 6.4 | 11.2 | 2.0 |
| 大企業 | 6.7 | 9.2 | 4.2 | 6.7 | 8.7 | 4.9 |
| 中堅企業 | ▲ 23.5 | ▲ 27.9 | ▲ 18.6 | 1.5 | 9.9 | ▲ 6.2 |
| 中小企業 | 8.8 | 24.6 | ▲ 6.7 | 10.4 | 24.5 | ▲ 1.1 |
| 非製造業 | 5.3 | 7.7 | 3.4 | ▲ 0.2 | 8.7 | ▲ 7.1 |
| 大企業 | 5.7 | 8.6 | 3.5 | 4.9 | 11.6 | ▲ 0.1 |
| 中堅企業 | 8.3 | 7.3 | 9.1 | ▲ 5.5 | 6.0 | ▲ 15.5 |
| 中小企業 | ▲ 26.3 | ▲ 33.4 | ▲ 20.1 | ▲ 17.1 | ▲ 0.8 | ▲ 30.1 |
| データ出所: 日本銀行(含む 土地投資額) | | | | | | |
| (大企業: 資本金10億円以上、中堅企業: 同1億円～10億円未満、中小企業: 同2千万円～1億円 2013/7/1公表) | | | | | | |

雇用情勢 ～依然厳しいものの、持ち直しの動きがみられる～

雇用は、一部に過剰感がみられるものの、概ね適正とするところが多い。

また、新規事業開発に関わる技術要員や新規出店に係る薬剤師等の不足から、中途採用を行う動きが引き続きみられる。

平成26年度の新規採用計画については、概ね前年並みとする企業が多い中、一部の業種では新規出店に伴い採用人数を前年よりも増やす企業が出てきている。

【企業の生の声】

△既存事業では人員が過剰気味である。新規事業における開発技術部門の研究者(即戦力となる30～40歳代)が不足している。【電気機器】

△雇用者の過不足については目立ったものはなく、適正と考えている。【鉄鋼業】

△一般製造工程の人員は余剰の状態が続いており、一部で雇用調整助成金の利用による一時帰休を継続している。但し、企画、デザイン等専門分野では不足しており、積極的な中途採用を考えている。【その他製造業】

△昨年度に実施した人員削減施策と国内景気回復基調により、概ね適正な人員雇用となっている。【窯業土石】

○薬剤師はずっと不足しているため、人材派遣も活用している。新規出店には薬剤師がどうしても必要なため、中途でも採用したい。【各種小売業】

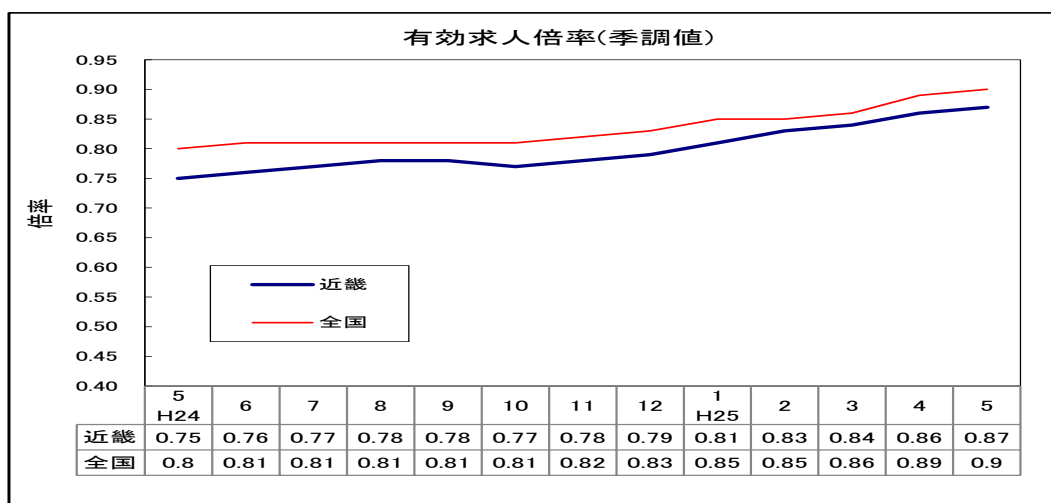
○新規事業開発に関わる機械・電気系技術者が不足しており期中のキャリア採用を実施中。【繊維工業】

○新規採用は25年度と同程度の採用予定数が決まっている。技術職の中途採用募集は行っている。【総合工事業】

○自社ではないが、職人は不足している。リーマンショックで職人が減っているのので、囲い込んでいないと仕事の受け手が見つからない。【総合工事業】

○平成26年4月採用予定数は前年より増加の予定。出店増に伴う対応。【飲食店】

○前年度までは採用を制限していたが今年度は積極的に採用し増加している。来年度も同規模となる予定である。【生活関連サービス業】



データ出所：厚生労働省

個人消費 ～緩やかに持ち直している。～

百貨店では株高による資産効果等により宝飾品や時計などの高額品が引き続き好調に推移し、国内旅行やレジャー施設も好調だが、食料品・日用品など日常必要なものに対しては、節約志向が続いている。高機能な軽乗用車の販売は好調。家電販売では、単価は上昇傾向にあるものの全体としては厳しい状況。

先行きは、消費税増税に伴う設備投資の増加、消費の冷え込み等不安の声が聞かれた。また、円安効果により増加した訪日外国人の消費が旺盛。

【企業の生の声】

○ゴールデンウィークではファミリー、観光客の来店が増えた。ラグジュアリーは引き続き好調。【各種小売業】

○宿泊、会議、レストラン、物販ともすべて好調で、婚礼も入っている。レストランでは今までは一番安いものが多かったが、今はちょっといい物と変わっている。相対的に受ける印象が良い。【宿泊業】

○パッケージツアーの4～6月期は、人員ベース 105%、販売額ベース 103%。

【生活関連サービス業】

×日常の生活必需品をお買い求められるお客様方については、景気回復には、まだまだ懐疑的で、生活防衛的な動きは引き続き強く残っている感がある。

【各種小売業】

×通信料金はフルパッケージプランよりもライトプランを選び、節約する客が多くなっている。【情報サービス業】

×4～5月はテレビの落ち込み分をカバーできず苦戦。ただし、買い換え需要では50万円前後の4Kテレビが売れており、単価は上昇しているなど付加価値の高いものは下げ止まり。【機械器具小売業】

・値札の取り替え、レシート記載内容の見直しといったシステムの変更など、消費税の変更にかかる設備投資を検討中。【各種小売業】

・外国人観光客の来店は、2月以降、大幅に伸びている。円安により高額品の動きが良い。数百万の買物もある。【各種小売業】

